

令和6年度 朝日中学校

全国学力・学習状況調査の本校の結果について

本年度の4月に3年生対象に実施されました全国学力・学習状況調査の結果について、本校の概要をお知らせします。

なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎないことをお断りしておきます。

教科の調査結果

【表の見方】 ◎…5%以上、上回る ○…±5%未満 △…5%以上、下回る

	国語	数学
全国との比較	○	◎
福井県との比較	○	○

国語に関する分析

良好な点

【書くこと】

- ・自分の考えを伝えるために、効果的な表現を用いて書くこと。

【読むこと】

- ・目的に応じて必要な情報を探しだし、文章の要旨を把握すること。
- ・文章と図とを結びつけて内容を解釈すること。

改善を要する点

【話すこと・聞くこと】

- ・必要に応じて質問し、話の内容を捉えること。

【知識・技能】

- ・表現の技法とその効果を理解すること。

数学に関する分析

良好な点

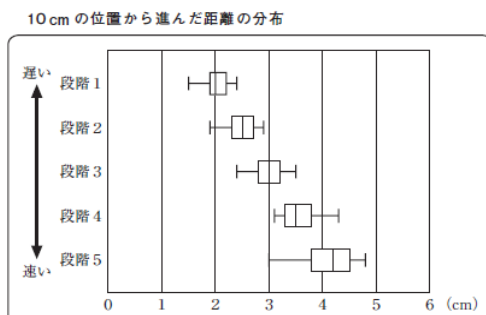
【関数】

- 一次関数 $y = ax + b$ について、切片の値を変えずに傾きを大きくしたときのグラフを選ぶこと。
- ストープの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフについて、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

【データの活用】

- 2枚の10円硬貨を同時に投げたときの2枚とも裏が出る確率を求めること。
- データから最頻値を求めること。
- 複数の箱ひげ図から分布の傾向を読み取り、数学的な表現を用いて説明すること。

(2) 咲希さんは、車型ロボットの速さを変えたときに、10 cm の位置から進んだ距離がどうなるか調べることにしました。そこで、速さを段階1から段階5まで変えて、10 cm の位置から進んだ距離をそれぞれ20回ずつ調べ、データを集めました。そして、データの分布の傾向を比較するために箱ひげ図に表しました。



前ページの10 cm の位置から進んだ距離の分布から、「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、10 cm の位置から進んだ距離の分布の5つの箱ひげ図を比較して説明します。下の説明を完成しなさい。

説明

したがって、速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある。

【全体】

- 記述式の問題（5問）において、無回答率がすべて県平均と比べて低かったこと。

改善を要する点

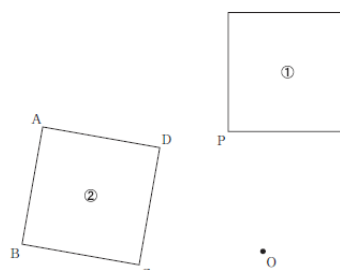
【数と式】

- 等式の変形を解くこと。（ $6x + 2y = 1$ を y について解く。）

【図形】

- 図形が回転移動したとき、回転前の図形の頂点に対応する頂点を回転後の正方形から選

③ 次の図で、正方形②は、正方形①を点Oを中心として反時計回りに80°だけ回転移動したものです。
正方形①の頂点Pに対応する正方形②の頂点を、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

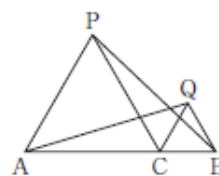


- ア 頂点A
- イ 頂点B
- ウ 頂点C
- エ 頂点D

- ・対応する辺の長さが等しくなることを、三角形の合同を基にして証明すること。

(1) 桃子さんは、コンピュータを使って調べたことから、点Cが線分AB上のどこにあっても、 $AQ = PB$ になると予想しました。

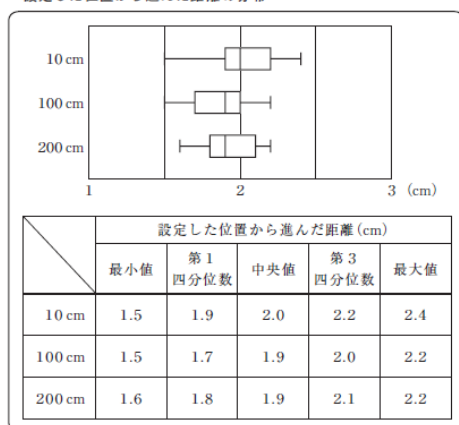
桃子さんの予想した $AQ = PB$ がいつでも成り立つことは、 $\triangle QAC \equiv \triangle BPC$ を示すことで証明できます。 $AQ = PB$ になることの証明を完成しなさい。



【データの活用】

- ・複数の箱ひげ図があるデータから、四分位範囲を正しく読み取ること。

設定した位置から進んだ距離の分布



段階1の速さで、障害物からの距離を10 cm、100 cm、200 cmと長くしていくと、四分位範囲はどうなりますか。設定した位置から進んだ距離の分布から読み取り、正しいものを下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

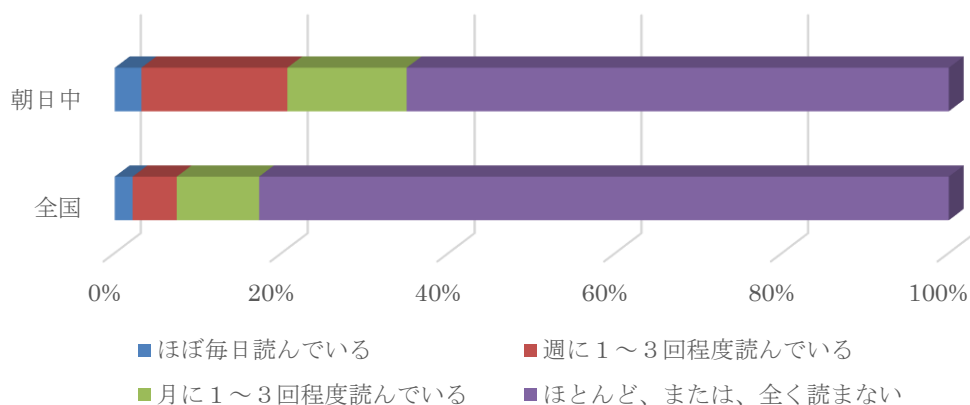
- ア 四分位範囲はだんだん大きくなる。
- イ 四分位範囲はだんだん小さくなる。
- ウ 四分位範囲は大きくなって、小さくなる。
- エ 四分位範囲は小さくなって、大きくなる。
- オ 四分位範囲は変わらない。

生徒質問に関する結果

良好な点

生活習慣に関すること

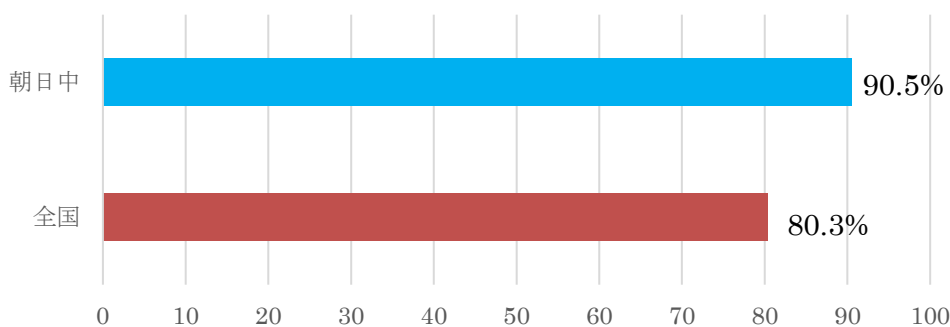
新聞を読んでいますか



○全国と比べて新聞を読んでいる生徒の割合が高いのは良好な点です。一方で、ほとんど、または全く読まない生徒の割合が高いのが課題です。

学習に関すること

1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



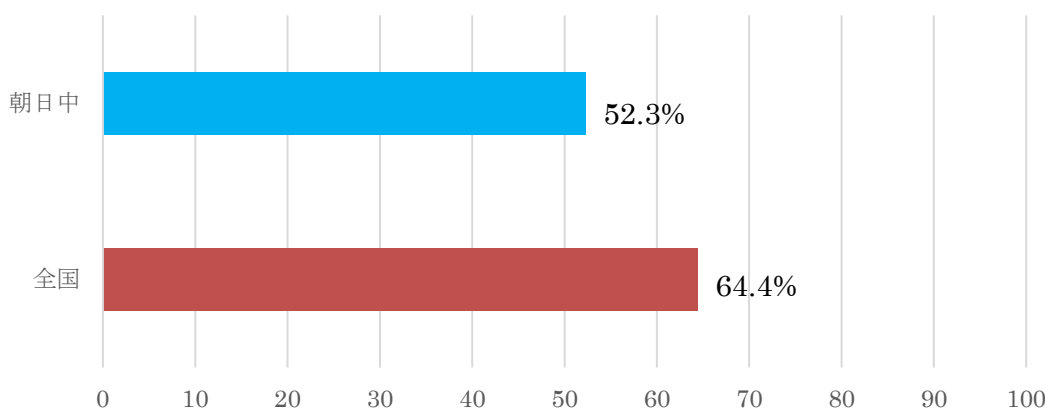
※グラフは、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した生徒の割合の合計を%で表したものです。

○授業では、課題の解決に向けて、自ら考え、意欲的に取り組んでいることが分かります。
また、自分の考えをまとめる活動を行っている割合も全国と比べると高くなっています。

改善を要する点

ICT 機器の使用に関すること

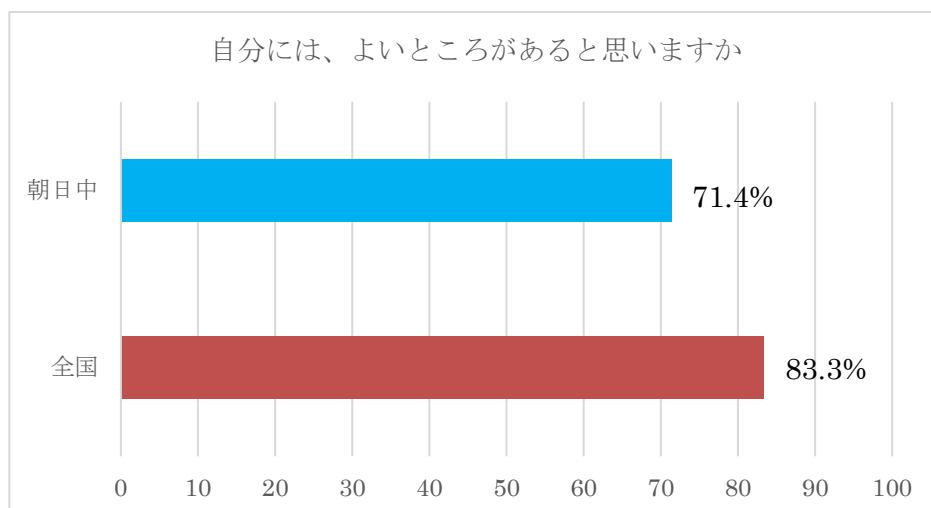
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか（週3回以上）



※グラフは、「週3回以上」と回答した生徒の割合の合計を%で表したものです。

○朝日中では、授業中にタブレットを使用する割合が昨年度よりも 10.3 ポイント改善しましたが、全国と比べるとまだ低いことが分かります。

自己有用感に関すること



※グラフは、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した生徒の割合の合計を%で表したものです。

○全国と比べて自分によりよいところがあると思う生徒の割合が低いことが分かります。一方で、先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う生徒の割合は、全国と比べて高くなっています。

改善に向けて

全国学力・学習状況調査の結果をもとに教科毎に分析を行いました。今後の授業改善に向け、アイデアを出し合い、今後の取組みを決めました。

- 話し合い活動の際には、分からないことや確かめたいことなどを質問するよう促していく。
- 表現技法について、「読むこと」の授業の中で解説したり、「書くこと」の授業の中で意識的に活用させたりしていく。【国語科】
- 数学的な根拠をもとにして証明する力をつけるために、与えられた条件から読み取れることを話しあったり、筋道を立てて説明できているか確認しあったりする学習活動を積極的に行っていく。
- 数と式において、等式の変形を解くために一年次に学んだ一次方程式を復習したり、データの活用において、四分位範囲の意味を理解するために、ヒストグラムと箱ひげ図の違いを確認したりするなど、単元の系統性を意識しながら既習事項を復習する機会を設けていく。【数学科】
- 生徒一人ひとりが活躍したり自己決定したりする場を設定していく。【共通】

家庭における「早寝早起き朝ごはん」の生活リズムを大切にしてほしいと思います。私たちは人間本来の生活リズムを守ることで、心や体をよりよく発達させることができます。また、朝ごはんを食べることで脳がエネルギー不足にならず、集中力や記憶力が持続します。保護者の皆様には、生活リズムの大切さについてお子様へのアドバイスやサポートをお願いいたします。